



97.手術や検査前にお休みが必要となるお薬について

皆さんは、手術や検査を受ける前に休薬（一時的に服用を中止すること）が必要なお薬があることをご存知でしょうか？今回は手術や検査前に休薬が必要となるお薬のお話です。

①血液を固まりにくくするお薬

心筋梗塞を起こされたことのある方、不整脈、脳梗塞などの病気をお持ちの方が服用していることの多い抗血小板薬（バイアスピリン®、クロピドグレル®、エフィエント®、シロスタゾール®、タケルダ®など）や抗凝固薬（ワーファリン®、プラザキサ®、イグザレルト®、エリキュース®、リクシアナ®など）です。また、脂質異常症のお薬の一部（イコサペント酸エチル®、ロトリガ®など）にも血液を固まりにくくする作用があります。このようなお薬を飲んでいると、手術の際に血が止まりにくくなり危険なため休薬が必要となります。お薬の種類や手術の内容により休薬の必要性や期間が変わります。お薬の中には7～14日前から休薬が必要なものもあります。また、自己判断で休薬すると血液が固まりやすくなり、血栓症を起こす可能性もありますので注意が必要です。

②女性ホルモンを含むお薬

婦人科疾患の治療や経口避妊薬として用いられるお薬（プレマリン®、ルナベル®など）です。一般的に手術の後は安静のため横になっている時間が長くなり足の血管の血液の流れが遅くなるので血が固まりやすくなります。女性ホルモンの一種であるエストロゲンは肝臓において血を固まりやすくする物質の合成を促進する働きがあります。そのため、休薬せずに手術を行うと手術後に足などで血栓ができやすくなります。この血栓症のリスクを下げるため休薬が必要となります。休薬の必要な期間は長く、手術の4週間前から休薬することもあります。

③ビグアナイド系糖尿病薬

ヨード造影剤を用いる検査を受ける際にビグアナイド系糖尿病薬（メトホルミン®、メタクト®、エクメット®、イニンク®など）を休薬します。ヨード造影剤の投与で腎機能が低下した場合、ビグアナイド系糖尿病薬の排泄が遅くなってしまい、乳酸アシドーシスという副作用を起こす可能性があるためです。緊急時を除きヨード造影剤を使用する検査を行う際は、ビグアナイド系糖尿病薬を検査当日と前後2日間休薬することになっています。

今回ご紹介したお薬以外にも、事前に休薬が必要なお薬、手術や検査当日に休薬する必要のあるお薬もあります。また、手術や検査を受ける病院以外から処方されているお薬やドラッグストアなどで購入したお薬にも休薬が必要なお薬が含まれている可能性があります。主治医の先生などに使用しているお薬を聞かれた際には、お薬手帳などを活用して、正確に情報を伝え、休薬の指示があった場合には必ず守るようにしてください。また、手術や検査が終わったら、お休みしたお薬をいつから再開するかも確認するようにしましょう。

お薬のことでご不明な点がある場合には、医師または薬剤師までご相談ください。

